

2023年10月12日
2023年12月8日(2、3を追加)
2024年3月25日(4を追加)

2025年度入試について

東京音楽大学

本学で実施される2025年度入学試験において、変更等重要な点は以下の通りです。
詳細については各入試の募集要項や本学ウェブサイト内の[関連ページ](#)もご確認ください。

1. 外国人留学生選抜にて、新たに吹奏楽アカデミー専攻募集開始

2025年度入試より、外国人留学生選抜において、吹奏楽アカデミー専攻も募集します。
外国人留学生で吹奏楽アカデミー専攻を志願される方は、関係の募集要項にて、出願資格、試験内容などご確認の上、受験してください。

2. 外国人留学生選抜での英語試験方法の変更

- 面接形式の試験を筆記試験に変更する。
- 本学指定の英語資格試験証明書提出により、英語試験を免除する。

	2024年度入試	2025年度入試
試験時間	15分	60分
試験方法	個別面接	筆記試験
試験内容	準2級レベルの英語による対話	一般選抜の「本学が行う英語」の試験問題に準ずる。 【設問構成例】 1. 語彙力を問う問題 2. 会話文の理解 3. 質問への回答・英作文(50~60語程度) 4. 長文読解 ※質問文は日本語と英語を併記(日本語ルビ付)
特記事項		本学指定の英語資格: ケンブリッジ英語検定, 実用英語技能検定, GTEC, IELTS(Academic), TEAP, TEAP CBT, TOEFL iBT®, TOEIC®(L&R/S&W), TOEIC Bridge® (L&R/S&W) ※スコアは一般選抜同様レベル(準2級レベル以上)

3. 一般選抜での該当者の英語試験免除

以下の条件に当てはまる志願者については、英語試験を免除する。

英語を母語とする者または英語が公用語となっている国・地域に居住する者で、通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けた者は免除する。ただし、通常の課程による直近6年間の学校教育を英語で受けたことを証明する書類を提出すること。

4. ミュージック・リベラルアーツ専攻指揮 実技課題の変更について

2025年度入試より以下のように変更する。

詳細は受験年度の募集要項にて確認すること。

【2024年度入試までの課題】

- (1) 小論文（英語または日本語 60分）
- (2) 聴音（単旋律）
- (3) 指揮実技 F. ブルグミュラー：25の練習曲 以下の8曲より当日指定 Nos.3,4,9,15,16,19,22,25
- (4) 演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏）※声楽を含まない
- (5) 指揮担当教員による面接

【2025年度入試からの課題】

※以下、2種類の課題から選択すること。

課題 A

- (1) 聴音（単旋律、複旋律(2声)）
- (2) 新曲視唱
- (3) 指揮実技
古典派交響曲：課題曲は入試により異なる（演奏は2台のピアノによる）
- (4) 演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。声楽不可）
- (5) 和声（バス課題「初級程度」45分）
- (6) 小論文（英語または日本語 60分）
- (7) 口述試問

課題 B (※作曲指揮専攻(指揮)と同じ入試課題)

- (1) 聴音（単旋律、複旋律および木管四重奏）
- (2) 新曲視唱（各種音部記号による。ただし、メゾ・ソプラノ、バリトン記号を除く）
- (3) 簡単な旋律のピアノ初見弾き歌い
- (4) スコアリーディング（2管編成程度の管弦楽曲）
- (5) 指揮実技
 - (イ) 2管編成程度の管弦楽曲の初見指揮（演奏は2台のピアノによる）
 - (ロ) 古典派交響曲：課題曲は入試により異なる（演奏は2台のピアノによる）
 - (ハ) 歌劇序曲：課題曲は入試により異なる（演奏は2台のピアノによる）※（ロ）（ハ）は暗譜で演奏（指揮）すること。
- (6) 演奏実技（ピアノを含む任意の楽器を演奏。無伴奏。声楽不可）
- (7) 和声（バス、ソプラノ課題「初級程度」1時間）
- (8) 小論文（英語または日本語 60分）
- (9) 口述試問

※ 総合型選抜の MLA 指揮については、外国人留学生選抜の作曲指揮専攻(指揮)と同じ課題。

※ 一般選抜 A・B 日程及び総合型選抜 MLA(秋入試)の MLA 指揮には、一般選抜 A 日程の作曲指揮専攻(指揮)と同じ課題。但し指揮実技の演奏は2台ピアノで行う。